

除菌器

No. 87321122
保管用

アクアクリーン MJ形

クイックガイド

はじめに取扱説明書の「安全上のご注意」を必ずお読みください。また、詳細については、取扱説明書をご参照ください。

薬液補充

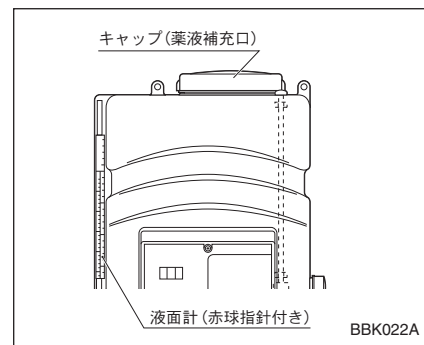
薬液 CL-1LB（有効塩素濃度 1%、特別付属品）の製造年月日をご確認のうえ、薬液槽上部のキャップを開け、薬液をこぼさないよう補充してください。（MJ25：25L以下、MJ40：100L以下）

* 薬液槽左側の液面計の赤球を指針としてください。液面計右側のスケール（青色）が薬液残量を示しています。

* CL-5/12（LB）使用時は、薬液槽の有効塩素濃度が 1% 程度になるよう希釈してください。

* 除鉄・除マンガン用途の場合は、専用機種 MJ-D を推奨します。

また、弊社水処理機器選定書に記載された薬液を使用し、記載された注入比率に調整してください。

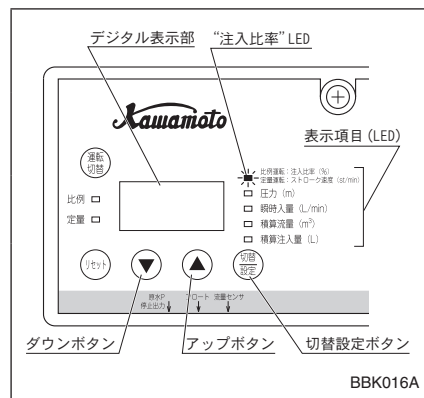


設定値調整

注入比率の調整

MJ25/40 各機種の注入比率は、残留塩素濃度がおよそ 0.8 ~ 1mg/L になるよう設定されています(1% 薬液原液使用時)が、井戸水に含まれる鉄・マンガン、有機物、亜硝酸、アンモニア(要注意)などにより、次亜塩素酸ナトリウムが消費されて濃度が下がります。付属の濃度測定器で濃度を測定し、下記手順に従って注入比率を調整してください。

- 1 電源投入して 5 秒後、デジタル表示部に「注入比率」が表示されます。表示項目の“注入比率”LED が点灯します。
- 2 アップボタンまたはダウンボタンのどちらかを 1 回押すと、デジタル表示部に「注入比率」が点滅表示されます。
- 3 アップボタンまたはダウンボタンを押して、「注入比率」を調整します。
- 4 切替設定ボタンを押すと、「注入比率」が表示中の数値に確定します。変更された「注入比率」が 1.5 秒間、点滅表示します。



注入圧力の調整

「原水ポンプによる配管圧力」に適した設定になるよう、下記手順に従って注入圧力を調整してください。(初期値 40m)

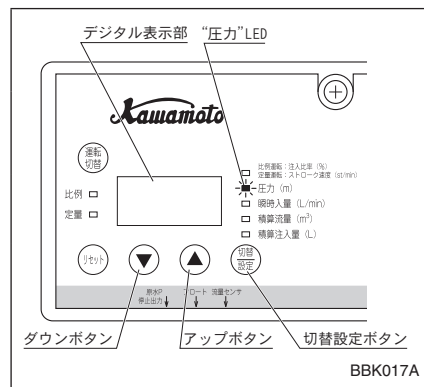
* 注入量不足を起こさないよう、原水ポンプの締切圧力以上に設定してください。(5m単位)

(設定値が配管圧力より低い場合、デジタル表示部 3 桁の先頭に「A」が表示されます。)

* 締切圧力が不明の場合は、40m から段階的にアップしてください。

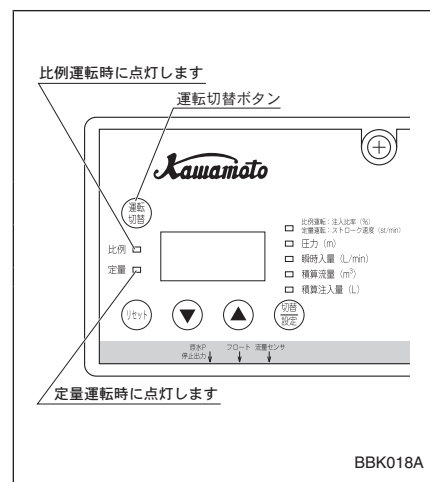
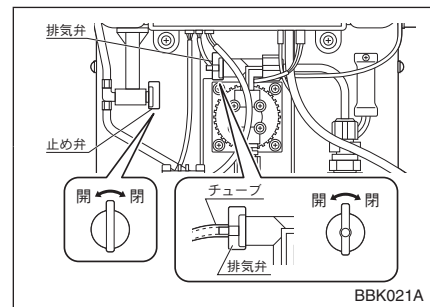
* MJ-D (圧力発信器付き) の場合は、自動調整のため調整は不要です。(5m毎、最小値 15m)

- 1 切替設定ボタンを押して、“圧力”LED を点灯させます。「圧力」表示に切り替わります。
- 2 アップボタンまたはダウンボタンのどちらかを 1 回押すと、デジタル表示部に「圧力」が点滅表示されます。
- 3 アップボタンまたはダウンボタンを押して、「圧力」を調整します。
- 4 切替設定ボタンを押すと、「圧力」が表示中の数値に確定します。変更された「圧力」が 1.5 秒間、点滅表示します。



注入ポンプの運転

- 薬液槽底部の止め弁（ストップ弁）が開方向（反時計回り）に2回転分開いていることを確認します。
 *止め弁は3回転以上回さないでください。薬液が漏れたり、止め弁が外れる恐れがあります。
- 注入ポンプ上部の排気弁に付属のチューブを取り付け、開方向に2～3回転分開いて、薬液が出てくるまで空気抜きを行います。
 *排気弁は3回転以上回さないでください。薬液が漏れたり、排気弁が外れる恐れがあります。
- 運転切替ボタンを押して、注入ポンプを定量運転に切り替え（60st/min）、ポンプケーシング内の空気をすべて排気します。
 *ポンプケーシング内の排気が終了したら、排気弁を閉めて、そのまま定量運転を継続（1分程度）して、注入ポンプに接続された吐出しチューブ内の空気を排気してください。
- チューブを取り外します。
- 運転切替ボタンを押して、比例運転に戻します。
- 除菌器2次側のじゃ口を開いて、原水ポンプを運転します。
 井戸水が除菌器に通水され、自動的に比例運転を行います。
 *MJ25/40ともに、注入比率が初期値（20/40%）の場合、流量20L/minにて1分間に12回運転します。
 *原水ポンプの圧力設定を変更するなど、運転圧力が変化した場合は、再度、「注入圧力」を調整してください。



以上で、給水準備完了です。

運転状況の確認

切替設定ボタンを押すごとに、「表示項目（LED）」の点灯が切り替わります。

表示項目（LED）	単位	調整・表示範囲（デジタル表示部）	初期値	備考
流量比例運転： 注入比率	%	10～100	20 (MJ25)	電源投入時の初期表示
			40 (MJ40)	
定量運転： ストローク速度	st/min	0 (停止)～150：MJ25	60	定量運転時の1分あたりのストローク数
		0 (停止)～300：MJ40		
圧力	m	10～70	40	原水ポンプの締切（最高）圧力以上に設定、5m単位
瞬時流量	L/min	0～100(MJ25) 0～400(MJ40)	0	51(MJ25) / 201(MJ40) 以上は点滅
積算流量	m ³	0.0～99,999.	0.0	上限値を越えた場合は、自動リセット
積算注入量	L	0.0～20.0(MJ25) 0.0～100(MJ40)	0.0	

表示項目の詳細は、取扱説明書を参照ください。

故障表示

運転中に保護機能が作動した場合は、デジタル表示部に異常内容が表示されます。

表示	故障内容	原因	対策
EL	薬液濁水	薬液がない	薬液の補充
EO	コイル断線	コネクタの外れ	コネクタを接続
		アクチュエータのコイル断線	アクチュエータ交換
E1	コイル短絡	アクチュエータのコイル短絡	アクチュエータ交換
EP	圧力発信器異常	コネクタの外れ	コネクタを接続
		圧力発信器の故障	圧力発信器交換
EH	高圧異常	原水ポンプの圧力が高い	ポンプ圧力の低減
EA	注入不良	大量のガス発生	薬液濃度低減、定量運転で排気

*故障の原因が分からないときは、購入先もしくは弊社最寄りの営業所にご連絡ください。ご連絡の際は、製品の形式、製造番号、故障箇所、故障状況を「点検表（取扱説明書 P.31）」に記入していただき、状況をお知らせください。